腰椎後方除圧術パス

説明

・麻酔科医師が

説明に伺います

患者さんには、治療計画に基づいた医療を行います。

病棟 病室 氏名:

説明日:

心口にから	は、心深可凹に至りいた区域	K (1) V (N) 0				
	月 日()	月 日()	月 日()~月 日()	月 日()~月 日()	月 日()	月 日()~月 日()
	入院日(手術前日)	手術当日	術後1~2日目	術後3~6日目	術後7日目	術後8~12日目:退院
目標	・手術に向けて準備ができる	・術後合併症がなく経過する:呼吸状態、頭痛、しびれ、体温、創部状態 ・痛み止めで痛みのコントロールができる ・安静が守られる		・感染症状がない・痛みのコントロールができる・装具の着脱練習、離床ができる	・感染症状がない・装具の着脱ができ、歩行 訓練ができる	・感染症状がない・装具の着脱ができ、安定した歩行ができる
治療 処置	・身長、体重測定・患者識別バンドを装着します・検温(毎日)	・手術前に検温をします・血栓予防の為に、弾性ストッキングを履きます	・傷の状態や痛み、その他の症状がないか観察を行います ・酸素投与を行います。呼吸状態が安定したら終了します	・創部の状態を診察します	・創部の診察をします	退院時 ・創部の診察 抜糸について説明があります
検査			・心電図モニターを装着します ・血栓予防の為に、足に機械を付けます ・傷口近くの管は、状態をみて抜きます ・術後1日目:採血をします		・採血、レントゲン検査	
点滴		・手術前に点滴を開始します	・手術後も点滴を継続して行います	・術後3日目まで、抗生剤の 点滴があります。終了したら点滴 の針を抜きます		
内服薬	・持参薬を確認します ・中止薬が予定通りに中止され ているか確認します		・痛みが強いときは、痛み止めを使います		・抗凝固薬を服用している方は、 医師の指示後に再開してください	
食事	・夕食以降、飲食禁止となります	・手術前の飲食については、麻酔科 医師より説明があります	・手術 4 時間後くらいから、飲水することが出来ます。 むせこみがないか看護師が確認をしながら、少しずつ摂取します ・術後1日目から食事が始まります			
排泄		・手術前にトイレを 済ませてください	・医師の許可後、尿の管を抜きます。トイベッド上で排泄をします。 看護師が準備		・トイレに行けます	
清潔	・シャワー浴	手術前にコンタクトレンズ、入れ歯、 めがね、指輪、時計、ネックレス、 ヘアピン、ウィッグなどは外してください	・洗面台へ移動できるまでは、うがい、歯原 準備し、ベッド上で行います・シャワー浴の許可が出るまでは、看護師	が体を拭くお手伝いをします		退院時 ・退院後のシャワー浴について 説明します
安静度リハビリ	特に制限はありません	・手術後は、ベッド上安静です ・寝返りは出来ますが、体の向きは、 看護師が支えて一緒に行います ・20度までベッドが挙げられます	 ・安静度やベッドアップ、注意事項について再度説明をします ・コルセットを装着した状態で、ベッドアップをすることができます 【リハビリ】 ・術後1~2日目:コルセットを装着し、徐々にベッドアップをして起き上がる練習を行います ・術後3~4日目:コルセットを装着し、車椅子乗車をします。その後、徐々に歩行に向けてリハビリを開始します 			・コルセットを装着し、 リハビリが拡大してきたら、 ベッドアップも安静度も自由です
	・入院オリエンテーションをします		・主治医から、手術後の経過について説明	月があります 🕝 🦜	・退院に向けて、注意事項などの	説明をします

・傷の痛みや吐き気、気分不良などの症状がありましたら、

ナースコールでお知らせください

確認してください

・退院時に、次回の外来予約票をお渡ししますので、来院日を